

平成30事業年度
(第 15 期)

決 算 報 告 書

国立大学法人
長岡技術科学大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,674	3,723	49	(注1)
施設整備費補助金	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	171	574	403	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	25	25	—	
自己収入	1,471	1,555	84	
授業料、入学金及び検定料収入	1,221	1,280	59	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	250	275	25	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	940	1,146	206	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	46	204	158	(注6)
前中期目標期間繰越積立金取崩	44	48	4	(注7)
計	6,371	7,275	904	
支出				
業務費	5,235	5,039	△196	
教育研究経費	5,235	5,039	△196	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	25	25	—	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	171	574	403	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	940	997	57	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	6,371	6,635	264	
収入－支出	—	640	640	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の前年度未使用額の繰入による25百万円の増、年俸制導入促進費の前年度未使用額19百万円の増、業務達成基準を適用した事業の前年度からの繰越額5百万円の増により、予算金額に比して決算金額が49百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算金額に比して決算金額が403百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、予定より授業料等の納入者数が増えたため、予算金額に比して決算金額が59百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、連携サテライトオフィスの開設による財産貸付料収入の増、科研費等の受入増に伴う科研費等間接費収入の増等により、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が206百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額は119百万円です。
- (注6) 目的積立金取崩額については、申請を行った平成29年度剰余金における目的積立金が承認されたため、予算金額に比して決算金額が158百万円多額となっています。
- (注7) 前中期目標期間繰越積立金取崩額については、年俸制導入促進費相当額及び目的積立金相当額の前年度からの繰越額の増により、予算金額に比して決算金額が4百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また、学内既定事業から関連補助金等への一部執行を振替えたことによる支出減等により、予算金額に比して決算金額が196百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が403百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。